

法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2025-07-04

なし

(発行年 / Year)

1910

(理由) 既ニ説明シタル如ク建物ノ築造觀望及ヒ明取意ニ關スル規定ハ只一定ノ慣習ナキ場合ニ應ス
ルノ規定ニシテ決シ之ヲ以テ慣習ヲ打破スルノ精神ニアラス以下二條ノ規定ト其趣ヲ異ニス

第二百三十七條

(理由) 本條ハ既成法典則編第三百十一條第一項乃至第三項ニ左修正ヲ加ヘタリ

一、地密ハ通常乾燥ナキモ水潤ニ比スレハ危險少ナキヲ以テ總之其距離ヲ三尺トセリ

二、廁坑ハ從來疆界線ニ接テ之ヲ穿フコト多シ俄カニ改メテ其距離ヲ六尺トスルハ著シク慣習ニ

特リ人民ニ非常ニ不便來スノ虞アルヲ以テ之ヲ三尺トセリ而テ肥料溜至リテハ用水潤及ヒ下水溜ト等シ其距離ヲ五尺トスヘキモノト信シテ之國坑ト區別シタリ

三、原文ニハ石撻ニ付シノミ規定セリト雖モ木陶磚等ハ却ア一層危險ニテ又堆積ヲ生スルノ虞

多キヲ以テ單ニ水潤白ヒ以テ其材料ヲ區別セサルコトセリ

第二百三十八條

(理由) 本條ハ既成法典則編第三百六十一条第一項但書及ヒ第四項ヲ以テ一條ハシタルナリ蓋シ規定ノ範囲ヲ洗クリテ一切ノ場合ニ適合スヘキモノト爲ス必要トシタレナリ

同編第二百六十三條ヲ削除シタルハ此等ニ工事ニ付テノ規定ハ大ニ公益ニ關スルカ故ニ強制的ニ執

行スヘキモノニシテ決シテ慣習ニ任スヘキモノニアラサレハナリ

同編第二百六十四條ハ無用ノ規定ナルヲ以テ之ヲ削除セリ

第二節 所有權ノ取得

(理由) 既成法典ニハ財產取得編ノ第一編ノ設ケ共三物權及ヒ債權ノ取得共通ル規定アリ又所

有權若クハ債權ノ取得ニ關スル規定アリト雖モ本條ニ於テハ財產取得ニ關シ特ニ第一編ノ設ケサル

ヨ以テ此點ニ付テハ自ラ既成法典ノ其體裁ニ異ニシタルコトヲ得ス即チ物權取得通則ノ本編第二

章ニ於テ之ヲ規定シ或物權ノ取得ノ特別ノ規定ハ本編第一章以下ニ於テ之ヲ掲ケタリ而テ之債權

ノ取得ニ關スル規定ハ之ヲ第三編中ニ掲タルコトセリ

本節ハ即チ此方針ニ基キ所有權取得ノ方法ア規定ノタルモノナリ尤モ所有權取得ノ場合ニ本節ノ外

ニ其規定ナキニ非スト雖他ノ條項中ニ於規定期限内トコトヲ至當トスヘキモノハ之ヲ省テ此ハ自

ラ特種ノ性質ヲ有スルノミ規定ナリ

既成法典ニ於テハ本節中ニ掲タル所有權取得ノ方法ニ特別ノ名稱ヲ附シ各々草分ナリ之三千ス

ト規定ヲ掲ケタリトモ本條ニ於テハ其必要ノ認アサルヲ以テ總ア之ヲ削レリ蓋其餘多カラサル

ト遺失物及ヒ埋藏物ニ干スル細則ハ行政上ノ便宜ヲ計リ之ヲ特別法ニ讀スコトヲ欲マレハナリ

左一既成法典ニ於テ削除シタル條文及ヒ其削除ノ理由ヲ説明スヘシ
財產取得編第三條第一項ノ規定ハ特權者之權利行使及ヒ漂流物遺失物ノ取得ハ特別法ア以テ之

ヲ定ム可キコトヲ示シタルマテナレハ敢テ之ヲ明文記載スルノ必要ナカルヘタ又其第二項ノ如干

ハ民法ノ範圍内ニ關セラルモノトス同第四條モ亦特ニ之ヲ掲ケルヲ要セス蓋シ權利ノ拡張ノ推定ス

ヘカサナルコトハ固リヨリ論フ俟テサレハナリ同第七條乃至第十條削除シタル理由ハ木案第二百

四十二條ノ説明三依リテ自ラ明ナリ同第十二條ハ第三條第一項削除シタル同ノ理由山ニ因リ特ニ之ヲ設ダルノ必要ナシ同第十四條モ亦ウヲ揭ケルヲ要セス蓋シ添附ノ因リテ所有權ヲ取得スルハキ

法律ノ規定ヲ俟テ始メハ生ズヘキ事實ナルヲ以テ苟モ附合シタル物ニシテ分離スルコト得ヘキトス

ハナリ同第十六條第十九條及ニ第二十條第四項ハ木案第二百四十八條ノ規定アルヲ以テ之ヲ存ス

キハ其客物ノ所有者ハ其分離ヲ請求シ且ツ損害アレハ其賃債ヲ請求ヘキコト論フ俟タレ

ハナリ同第十一條第十二條及ニ第二十二條ハ當然ノ事タリノナラヌ第二十二條ノ如キハ殆ド共

ルノ必要ヲ見ス同第二十二條及ニ第二十二條ハ當然ノ事タリノナラヌ第二十二條ノ如キハ殆ド共

適用ノ場合ヲ生スヘカラサルヲ以テ之ヲ削除セリ又第二十三條第一項以下ヲ削リタル理由ハ木案第二百四十二條ノ説明三依リテ自ラ明ナルベシ

第二百三十九條

(理由) 本條ハ所謂先占ノ場合ニ規定シタルモノナリ先占ハ無主物、所有權取得ニシテ他人ノ所有物ヲ取得スルモノニ非ラズ故ニ本案第百九十二條以下ノ場合ト大・其性質の異ニス是レ特ニ本條ヲ設

ケタル所以ナリ第一項財產取得編第二條ニ字句ノ修正ヲ加ヘルモノニシテ是先ノ占有ナル文字ヲ削リタルハ無主物ナム語ト重複スルヲ以テナリ又、得失、ハ、方法ナリト云カ如キハ胸カ法文ノ體

裁改反スルヲ以テ之ヲ改メタリ第二項ハ財產編第二十三條第三項ニ當ルモノニシテ之カ規定ヲ設ケ

二百四十條

ントセハ木條ニ於クスルヲ以テ最モ至當ナリト信ス

第二百四十條

(理由) 遺失物ニ關スル詳細ナル規定ハ之ヲ特別法ニ譲ルヲ便ト、蓋シ其規定ニシテ行政上ノ手續ニ關スルモノ極メ多カシ可キヲ以テナリ然レドモ遺失物ノ所有權、取得ニ付テハ之ヲ民法ニ規定スルヲ至當トス凡て遺失物拾取シタル者カ所有者ヲ求ムル手續、處シタル後ニ一定ノ期間ノ經過シタルモ尙ホ所有者ノ知シサル場合ニ於テ其所有權ヲ取得スルハ固リ我當ノ得タルモノトス唯其期間ノ長短ニ付テ諸國ノ法律其軌ヨニセス我現行法ニハ之ヲ一年トセリ然レドモ先生議會ニ提出セラレタル遺失物ニ關スル法律案ヲ見ルニ右ノ期間ヲ六ヶ月ト定メタリ木案ニ於テハ主務官廳ノ意見ハ其當ヲ得タルモノナルヲ信スルヲ以テ其意見ニ從ヒ木條ニ如キニ規定セリ而シテ漂流物ニ關シテ明文ヲ置カサルハ之ヲ以テ遺失物ト爲ス可キヲ以テナリ

第二百四十一條

(理由) 本條ハ財產取得編第六條及ニ第一千三百條ニ修正ヲ加ヘタルモノナリ既成法典ハ先占及ニ添附ノ兩章ニ於ク財產物ニ關スルノ規定ヲ掲ケリ財產物發見者カ其所有權ヲ取得スルハ先占ニ因ルモノトシ包藏物ノ所有者ナリ財產物ヲ取得スルハ添附ニ因ルモノト爲シタルトモ財產物ハ未來無主物ニ非ラサルヲ以テ先占ニ關スル規定ニ適用ヲ受クヘキモノニ非ス又理財物・包藏物トハ主從ノ關係ヲ有スルモノニ非ルヲ以テ添附ニ關スル規定ハ其場合ニ之ヲ適用スヘキモノニ非サルナリ木案ニ於

テハハ埋藏物ノ所有權ヲ取得スルハ一二便宜法ノ規定ニ因ルセムト見解ヲ採リ其所有權ハ發見者ニ屬スルノ原則ト爲シ他人ノ物ノ中ニ於テ之ヲ發見シタル場合ニ限り發見者ト埋藏物ノ所有者ト之ヲ折半ス。ヤリト定メタリ是レ羅馬法以來ノ立法例也。タルモニ外ナラヌ又既成法典ハ本條書場合ニ於テ予然ニ埋藏物ヲ發見シタル以テ其所有權ヲ取得スルニ必要ナル條件ト爲セリ是レ蓋シ他人ノ物ヲ捜査スルノ弊ヲ防止セントノ意也。タルモノナラシ然レモ斯カル弊害ヲ防カシニ。他ニ其方法アリ最テ偶然ノ發見ヲ以テ所有權取得ノ條件トナスコトヲ要セサルナリ。

六埋藏物ノ所有權ヲ取得スルニハ其所有者ノ知レサルコトヲ必要トス而シテ其所有者ノ知レサルモノト認ムルハ果レシ何レノ時ニ最テスヘキヤ既成法典ニ於テハ場合ニヨリ發見後三年若クハ三十年ヲ経過スルハトヲ必要シタルト此等ノ期間ハ稍ヤ水キ遇ト遺失物ノ規定トロ權衡ヲ失フノトス故ニ本案ニ於テハ埋藏物所有者ノ現出ヲ促カスヘキ相當手續ヲ爲シタル後六ヶ月ノ期間ヲ経過シタルトキハ原所有者ヲレテ其權利ヲ主張スルコトヲ得セムメサル也。ノトシ前條ノ規定ヲ準用ス可サセモノト爲シタルナリ。

第二百四十二條

(理由) 本條以下所列添附二關スル規定ナリトス既成法典ニ於テハ不動產上ノ添附ト動產上ノ添附ト區別シテ詳細ニシム規定ヲ設ケタリ而シテ其不動產上添附二關スル規定取次乃至二三ニハ各種

ノ場合ニ干スルカ爲シ詳細ヲ欲シテ却ア缺漏ニ失セスルノ虞ナキ能ハス故ニ本條ヲ以テ之ヲ包括的ノ

レ右兩項ハ之ヲ削除セリ

第二百四十三條

(理由) 本條ノ規定ハ山益東得編第十五條第一項ト其趣意ヲ異ニセス唯原文但書ハ本案第二百四十八條アルヲ以テ之ヲ刪除セリ

同條第二項及ヒ第三項 物主從ヲ定ムヘキ標準ヲ示シタルモノニシテ羅馬法以來諸外國ノ法律ニ

於テ多ク見ル所ナリト雖モ此標準ニ依ルトキハ往々公平ナル結果ヲ生スルコト能ハサル場合ナキニ非ス故ニ本案ニ於テハ獨逸民法草案ノ例ニ倣ヒ裁判所ノ認定ニ依リテ物主從ヲ定ムヘキモノト爲シ右兩項ハ之ヲ削除セリ

第二百四十四條

(理由) 本條ノ規定ハ財產取得編第十七條ニ「ノ修正ヲ加ヘタルモナカリ即チ原文ニ平等、ノ権利、ノ云々トアルヲ本條ニ於テハ」改メテ附合ハ當時ニ於ケル價格ノ割合シテ、シテ「ノ」改メタリ是レ

前條ニ於テ財產取得編第十五條第二項ノ規定ノ割合ヲ採用セサリシ結果ニ外ナラス蓋シ既成法典ニ於テハ同條ニ掲タル標準ニ依リテ物主從ヲ區別スルコト能ハサル場合ニ始メテ合處物ノ共有ヲ生スヘキシテ其共有ノ割合、勢平等ヲヲルコト得ス然レモ本案ニ於テハ物主從ヲ區別ヘ裁判所ノ認定ニ任シタルヲ以テ義理所ハ價格ノ不均ナルニ拘ハラス物主從ヲ區別ラ立テサルコトヲナシモトス故ニ斯カル場合ニ於テ其價格割合ニ應レテ之ヲ共有スルモノト定ムハ外ナキナリ

第二百四十五條

(理由) 本條ハ財產取得編第十八條ニ該當スルモノニシテ其第一項ノ規定ハ此ニ之ヲ採用セス是亦本
案ニ於テ物ノ主從フ區別スルノ標準ヲ定メサル結果ナリトス

第二百四十六條

(理由) 本條ハ所謂製作三關スル規定ナリトス既成法典ニ於テハ製作ヲ以テ物ト勞力ト相附合シタル
ノ結果ト認メタルカ爲メ添附第一章ニ於テ之ヲ規定ヲ掲ケタリト雖モ其當ハ失ベルコト論ヲ俟ダス抑
ルヤニ付テハ立法例區々シテ或ヘ材料ノ所有者ヲシテ加工物ノ所有權ハ果ニテ何人ニ歸ス可キモノナ
ル凡カ他人ノ材料ニ工作ヲシテ加工物ヲ所有權ノアリ或ハ加工物ノ原狀ニ復スルコト能ハ
ハ勞力ニ重ヲ置キ加工者ヲシテ加工物ヲ所有權ノアリモノアリ又ハ加工者ニ勞トキニ限リ加工者善惡アルトキナリ
サルトキ又ハ加工者善惡アルトキニ限リ加工者ヲシテ加工物所有權ヲ得セシムルモノアリ蓋
シ加工者ヲシテ加工物所有權ヲ取得セシムルノ主義ハ物ニ勞力ヲ加ルトキハ茲ニ一ノ新ナル物
ヲ生ヌストスル思想ニ出テタルモノニ外ナラス然レトモ加工ニ因リテ當新ナル物ヲ生ヌストスルハ事
實ニ反ヌルコトアカルヲ免レヌ故ニ製作ナル文字ヲ改メテ工作トセリ面レテ其加工物ノ所有權ニ關ス
ル原則ニ至テハ既成法典ニ規定ヲ以テ其當ヲ得タルモノトシ本條第一項ニ之ヲ採用セリ唯其但書ノ
場合ニ於テ間質ナル文字ヲ改メテ工作ニ因リテ生ハカル價格云々ト爲シタルハ加工者ニ於テ加工
物ノ所有權ヲ取得スルニハ實際ノ增價額ニ依ルヲ至當ト認メタルヲ以テナリ又本條第二項ハ原文第
三項ト大差ナキヲ以テ之ヲ説明スルノ必要ヲ見ズ

第二百四十七條

(理由) 本條第一項ノ規定ニ正當ナルコトハ論ヲ俟タス蓋シ前五條ノ場合ニ於テ物ノ所有權ノ消滅ス
ル所以ハ物滅失タリカ爲メナルヲ以テ其物ノ上ニ存ヒル他之權利モ亦所有權同シク消滅セサ
ル可カラサルヲ以テナリ然トモ若シ明文ナキトキハ疑議フ生スルトナレントセス故ニ獨逸民法草
案ニ倣ヒテ茲ニ之ヲ掲ケタリ第一項ニハ必要ノ制限ヲ定メタルモノニシテ第一項ノ規定アル以上ハ之
ヲ明示スルノ已ムノ得リルコト敢テ説明ヲ要セサル所ナリ

第二百四十八條

(理由) 既成法典ニ於テ添附各種ノ場合ニ付キ值還ハ賄價ノ資アルコトヲ規定セリト雖モ本案
ニ於テハ便宜上其規定ナリ一括リ本條ニ之ヲ掲ケタルコト爲セリ是固リ規定ヲ要スル事ナリト雖モ
一タヒ其規定ヲ設ケル以上ハ何レノ場合モ不當ノ利得又ハ不正ノ所爲ノ責任ニ外ナラサルヲ以テ其
各條ニ讓ルヲ便利トス

第三節

共用

(理由) 共有ハ所有權ノ狀態ニ外ナラス故ニ本章ノ一節トテ茲ニ之ヲ規定セリ既成法典ハ財產編
第三十七條乃至第四十條ニ於テ共有ニ關スル規定ヲ掲ケ更ニ財產取得編第十四章第五節ニ於テ共有
物ノ分割ニ關スル詳細ノ規定ヲ掲ケタリ本案ニ於テハ前述ノ理由依リ共有ニ關スル一般ノ規定ハ

總チ之ヲ本節中ニ掲クルコト、爲セリ

左ニ既成法典中ノ削除タル條文及ヒ其削除ノ理由ヲ示サン

財產編第三十七條第三項、只通常事実ヲ示シタルニ過キス蓋々共有物・果實ト雖モ之ヲ分割セラ
ル間ハ各共有者ノ持分ニ據定テ其共有トナルヘキハ論ヲ俟タス然リト雖々共有者又何時タリトモ
共有物ノ分割ヲ請求スルコトヲ得而シテ果實ノ如キハ其物ノ性質上及ヒ共有者相互通利ノ爲メ直
チニ其分割ヲ爲セルモリト得ヘシ原文ハ決シテ果實ノ共有ヲ禁シタル命令の規定ニ非サ

ルコト疑フ容レス果シテ然ラズ特ニ此ノ如キ規定ヲ設クリノ必要ヲ見サクナリ同編第三十八條第一
項末段及ヒ第二項モ亦當然ノ事アルヲ以テ之ヲ削レリ又同編第四十條ハ共有ニ關する規定ニ非ラズ

本案ニ於テハ義ニ修正ヲ加ヘ本章第一節ニ之ヲ掲ケタリ(二〇八)

財產取得編第四百八條ノ規定「不必要レム且誤解ヲ生シ得ヘリヲ以テ之ヲ削リ蓋々分割ハ其意

聖批示ノ確定ナルヨトヲ通スル論侯ダスト雖ヘ普通所謂明不タルコトヲ必トヘキ理由ヲ見
サレハナリ同編第四百九條第一項、當然ノ事ナルヲ以テ之ヲ置クノ必要ヲ見ス其第二項第一號ハ皆

モ法定代理人ノ選任ナキ間ハ般ノ規定、從ヒ分割ヲ取消スコトヲ得ヘキモノレシテ足利リトス又

其第二號及ヒ第三號ノ場合ハ本案第一百五十九條ノ規定セリ譯ルノ便利トス又第四百十一條本文ノ規定ヘ合意
ハ部分ノ手續ニ關スルモノニテ特別法ノ規定ニ譯ルノ便利トス又第四百十二條本文ノ規定ヘ合意
上ノ分割ニ適用スベキモノトシテハ殆ド其意義ナク又裁判上ノ分割ニ付テハ本案第一百五十九條ニ

於テ裁判所ノ職權ヲ明定レタルヲ以テ原文ノ如キ規定ヲ見ス又其但書上段ノ如キハ
當然ノ事ニシテ敢テ明文ヲ要セス下段ノ規定ニ其必要ヲ見サルノミナラス本案第二百五十九條但書
ノ規定ニ依リ其場合ニハ實際裁判所ニ於テ競賣ヲ命スヘキヲ以テ共ニ之ヲ削除セリ加ヘ儀倣者ヲ
共有者ノ權利ハ本案第二百五十三條第一百五十四條及第二百五十九條ノ規定ニ依リ十分ノ保護セラ
ルヘキヲ以テ此點ニ付テ原文ヲ存ルノ必要ヲ見サルナリ同編第四百十三條ノ規定ニ通則ノ適用
ニ依リ特ニ之ヲ設クリヲ要セス又第四百二十四條本案第一百八條ノ規定アルヲ以テ特ニ之ヲ掲ケル必
要ナリノミナラス共有者中ニ無能力者又ハ不存者アルトキハ裁判上ノ分割ヲ生スヘキヲ以テ之ヲ削
除セリ第四百十五條ノ規定ニ通則トシテハ其當ヲ得サルコト明ナルヲ以テ同シタルノ前
シリ

同編第四百十七條ハ分割ヲ以テ認定ノ效力ヲ有スルモノト爲スノ規定ニシテ素ド一ノ假想ニ出ア
ルセノニ過キス若シ佛國民法ノ如キ遺產繼承ノ付キ半分主義ヲ採ルトキハ或ハ此ノ如キ擬制ヲ設ク
ルノ必要アル可シト雖モ共有ノ通則トシハ敢テ之ヲ設タルノ必要ナキノミナラス分割者ノ一人ヲ
保護セント欲シテ却ハ抵當權者其他ノ第三者害ニシテ結果ヲ生スヘク又追奪擔保ノ責任ニ關スル
次條規定等トモ抵觸スルニ至ルヘシ故ニ本案ニ於テハ反對主義ヲ採用シ原文ヲ削除リ又同編第
四百十九條ヘ債權譲渡ノ效力ニ關スル變例ナリトス(第六八八案スルニ既成法典ニ於テ此變例ヲ設ク
ル所以ハ蓋シ分割ヲ以テ單利ノ目的ノ以テスル也ト爲サヌ從ア分割者間ニ損害ノ差別ヲ生スル

如キ不公平ナカラシコトヲ欲シタルニ外ナラス今若シ相續ニ關シテ平分主義ヲ採ラハ其場合ニ付キ
或ヘ此ノ如キ變例ヲ設カルノ必要アルヘント誰モ通常ニ付テハ此ノ如キ變例ヲ設カルノ必要
アルヲ見ヌ且夫分割當時ヨリテ實力ノ有無ヒと限度ヲ明ニスルハ往々困難ナルモノ謂ハサ
ルヲ得メ已ニ分割ヲ以テ賣買ト同シク權利授付ノ行爲トスル以上ハ獨り債權ニ付テミ特例ヲ掲
ルハ其當ヲ得ヌ故原文ヘ之ヲ削除セリ

同編第四百二十條前段、本款則編ノ規定ヲ以テ足レリトシ取テ之ノ置キノ必要ヲ蓋シ分割ノ
法律行爲タルコトハ自明カナルヲ以テナリ又其後段ノ缺損ニ關シテは平分主義ノ相續法ニ於
テハ或ヘ至當ノ規定ナルヘント誰モ已ニ一般ノ法律行爲三付キ之ヲ以テ其取消一原因ト爲サス共
有物ノ分割ニ付テモ亦適用トシテ之ヲ認ムルハ極メテ其當ヲ得サルセト信スルヲ以テ原文ハ之ヲ
削除セリ

同編第四百二十一條ノ規定ト亦法律行爲ノ通則アル以上ヘ取テ之ヲ設タルノ必要ヲサルナリ
第二百四十九條

(理由) 本條ハ財產編第三十七條第一項ニ修正ヲ加ヘタルモノナリ原文、持分ハ均不均ニ拘ハズト
アルヲ改メテ其持分ニ應ハム、使用ト爲シタルハ持分ノ少半共有着者、誰モ専主其有物ノ全部ニ付キ
持分ノ多キ者ト同一使用權ヲ有ベルモノトスルハ極テ不公平ナルト爲ナリ原文ノ版意或ハ然フ
サルヘント雖セ極メテ不明瞭アルヲ免ガレス故ニ此ニ原則トシ共有着者ノ使用權ノ範圍ハ其持分ニ

應スルモノト爲シタリ

第二百五十條

(理由) 本條ハ財產編第三十七條第二項ノ本文ト毫毛異ナル處ナシ而シテ其但書ヲ削除シタルハ本案
二於テ推定スト云々文字ヲ用ユルトキハ必反對フ證據ヲ許ス意ナルカ爲メナリ

第二百五十一條

(理由) 本條ノ規定ハ財產編第二十八條第二項ニ該當スルモノニシテ特ニ之ヲ設ケノ必要ナギカ如シ
ト雖モ第二百四十九條及ニ殊ニ次條ノ規定アル爲メ或ハ疑議ノ生セシムコトヲ恐レ之ヲ置クコトヲ至
當ト信シタリ

第二百五十二條

(理由) 財產編第三十七條第四項ニ依キトキハ保存行爲ヲ除ク外共有物ノ管理ニ關スル行爲ハ總チ共
有者合同シテ之ヲ爲スニ非サレハ其效力ナキモノトモリ然レト此ノ如ダヌルトキハ許多ノ場合ニ
於テ不便ナルヘキヨシノ本條ノ如クニ修正セリ而シテ前條ノ場合ヲ除ク外ト云々ル数字ヲ加ヘタル
ハ管轄ナル文字ノ意義清博カルカ爲メ又ハ前條ノ場合ヲ含ムモノトスルノ恐レルカ爲メナリ

第二百五十三條

(理由) 本條第一項ハ財產編第三十七條第五項ニ同シ第二項ニ以下ハ借權者タル共有者ノ權利ヲ確保ス
ルニ付キ必要ト信シタルヲ以テ或ニ立法院例ニ倣ヒテ之ヲ置ケリ

第二百五十四條

(理由) 本條へ財産編第三十七條第六項ニ修正ヲ加ヘタルモノニシテ原文ニ於テハ前款項ニ掲タル事

項ニ付ヨリ別段ノ合意ヲ爲スヲ得ヘキコトヲ示レタル過トス然レドモ此點ニ付テ敢テ明文ヲ設ク

ルノ必要ヲ見ス唯規定スヘキハ其契約カ各共有者特定承繼人ニ對シテ效力ヲ生スル事ナリトス但

登記法ニ於テ此等ノ契約ト離セヨ登記スヘキモトスルコト必要ナルヘシ本條ハ即チ此目的ヲ以テ原ラニ修正シ編民法第二講會草案ニ於テ各種の場合ニ付キ規定スル所ヲ一括シテ汎ク共有者ノ

一人本條ノ規定ニ依リテ共有物ニ付キ他共有者對テ有スル債權ハ其特定承繼人ニ對シテ生之行コトヲ得ヘキ旨ヲ明ニセリ今若レ本條ノ規定ニ付キトキハ他ノ共有者ニ對シテ債務ヲ負擔ス

ル共有者ニ付分ノ譲渡ヲ爲スニ依リテ相手方ノ債權ヲ有名無實ニ歸セシムルコトヲ得ヘナリ

第一百五十五條

(理由) 本條ノ規定ハ諸國ノ法典ニ其例ヲ見サル所ナリト雖ミ若シ之ナキトキハ持分ヲ捨棄シタル共有者又ニ相続人ナクシテ死亡シタル共有者ニ付分ハ何人歸屬スヘキヤニ付キ疑フ生ス可キヲ以テ

之ノ置ケリ殊ニ不動產共用ノ場合ニ於テヨシ本條ノ規定ニ付キトキハ本條第二百三十九條第一項ノ規定ニルカ爲メ國ヲシテ共有者タフシムルノ結果ノ生レ甚不便ナルヘシ

第一百五十六條

(理由) 本條第二項及ニ第一項ハ財產編第三十九條第一項乃至第三項ニ字句ノ修正ヲ加ヘタルモノニ

第一百五十七條

(理由) 本條第三百八條及ニ第一百二十九條ニ掲タル共有物ハ其性質上分割ヲ許スモノニ非スト離セムヘカラシルヲ以テ其一人ノ請求ノルトヨハ分割ヲ爲ベヘキモイースルハ殆ト諸國ノ法律ニ認ムル所ナリ

第一百五十八條

(理由) 凡ソ裁判上ノ分割ヲ必要トスルハ分割ニ付キ共有者ノ一致ヒサシシ場合ニ付ス此場合ニ於テ所ノ職權ヲ定ムルコトニ付スハ諸國ノ法律其原則ヲ異ニス本條ニ於テハ分割ノ方法及ヒ割合ニ付キ成ルヘク裁判所ノ職權ニ付セサルヲ便利トシ唯但書ニ掲タル如キ不獨ナキ限リハ現物ニテ分割ヲ爲スコトヲ要スルモト定メタリ但其別段ニ場合ニ履行スヘキ競賣ノ手續ハ他ノ場合ニ付アリ之ヲ定ムルノ必要アルモキヲ以テ之ヲ特別法ニ認リタリ

第一百五十九條

(理由) 本條ハ便宜ノ規定ト認シ編民法草案ニ敬ヒシヲ設ケタリ蓋シ共有者ノ一人カ共有ニ基ケル債權ヲ有スルトヨハ分割前ニ於テハ第二百五十三條第二項及ニ第二百五十四條ニ依リテ保護ヲ受ク

ルコトヲ得ヘント雖モ場合ニ依リテハ速ニ辨済フ得ルヲ欲サルコトアシベカラ或ヘ又分割ノ目前ニ

追ルトキハ其保護ヲ受ケルコト能ヘサル場合アルヘシ斯カム場合ニ於テハ其共有者ヲシテ分割ノ際ニ辨済ヲ受クハコトヲ得セレムル方法ノ定アルヲ至當トス既成法典於テハ即チ此ノ如キ場合ニ於

テ分割者ノ爲メ先取特權ヲ認タリト雖モ先取特權ヲ實行スルニハ多少ノ時日費用等ヲ要ス寧ロ分割ノ未タ結了セサル前一於テ借還ヲ受クルコトヲ得セシムルノ簡便ナルニ若カヌ是レ本條ノ規定ヲ設ケタル所以ナリ

第二百六十條

(理由) 本條ノ規定ハ既成法典ニ缺クル所ナリ然レドモ若シ共右物、買戻權ヲ有スル者ノ如キ共有物ニ付キ權利ヲ有ヘル者又ヘ所有者ノ債権者カ自己ノ費用ヲ以テ分割ノ參加スル以上ハ敢テ他人ヲ害スル弊ナガニミナラス正當ノ範囲ニ於テ其權利ヲ保持ヘルニ付キ利益少ナカラサルヲ以テ之ヲ置ケリ

第二百六十一條

(理由) 本條ハ財產取得權第四百八十八條少々修正ヲ加ヘタルモノナリ既成法典ニ於テハ共有者ノ擔保ノ責任ニ付キ其責任ノ限度、條件等ノ事ヲ規定セス此ニ於テ半賣主ノ擔保義務三關スル規定ヲ準用スルコトヲ得キヤ否ヤ付キ疑アリ蓋既成法典ニ於テハ分割ヲ以テ認定ノ效力ヲ生スルモノト爲シタルカ爲メ別段ノ規定ナキ限ハ賣主ノ擔保義務ニ關スル規定ヲ之ニ準用スルコト生ハサルカ

ナリ

第二百六十二條

如シ本業ニ於テハ分割ヲ以テ權利移轉ノ效力ヲ有スルモノノトシタルニ因リ此點付キ賣買ノ規定ヲ準用スヘキコトヲ明ニセンカ爲メ茲ニ賣主ト同ク云々ノ數字ヲ加ヘタリ

第二百六十三條

(理由) 本條ハ附錄編第四百十五條ニ附カ字句ノ修正ヲ加ヘタルモノ過ヨリス苟且共有者一人ノ要求

ニ依リ分割ヲ爲スヘキセトシタル以上ハ民法上ノ義務トシテ證書ヲ保存ヘキ者ノ定ムルノ必要

ナルコトハ疑ツ存セサムナリ

第二百六十四條

(理由) 入會權ニ付テハ各地方廳及ヒ裁判所ニ照會シ其回答トシ得タム書類ヲ開スルニ慣例區區一定セスト雖モ要スル逾後ノ性質ヲ有スルニ非サレハ共有ノ性質ヲ有スルモノ如シ而シテ其共有

ノ性質ヲ有スル者ハ太節ノ規定ニ從フヘキカ如シト雖モ入會權ヲ有スル村民レテ若自由ニ持分ノ譲渡シ又何時ニテモ分割ヲ請求タルコトヲ得ルモノトセハ多地方ノ慣習ニ背キ其弊害極メテ大ナ

ルヘキト以テ主トシ各地方の慣習ニ從フヘキモノトナセリ

(理由) 敷人カ或物ニ付共ニ有スル權利ハ多クハ所有權ニ外ナシト雖モ占有權其他ノ權利ニ付テモ亦之ナシトセシテ本節ノ規定ハ其權利ノ性質又ハ法令ノ規定ニ反セサム利ハ此等ノ權利ニ適用スヘキモノトスノ至當ナルコトヲ俟ヌ是茲ニ此規定ヲ定ムタル所以ナリ